

原稿執筆のご依頼（分科会発表者）

経済教育学会第34回大会（大阪教育大学）での先生の研究発表を、学会誌『経済教育』第38号（2019年9月刊行予定）に掲載したいと考えています。つきましては、下記要領で執筆を依頼しますので、よろしくお願い申し上げます。

執筆要領

1. 内容

ご自身の分科会における研究発表と、大会当日の質疑内容等も考慮にいられて、原稿執筆をお願いいたします。

なお、学会誌『経済教育』は全ページを電子化して公開しますので、学会誌巻末の著作権規定を事前にお読みください。

2. 執筆者

表題（和文と英文の両方）の後、執筆者全員（お一人でも複数でも）について、氏名（ふりがなと英語表記付き）と、所属（学会発表時点の学校等所属機関名）を必ずお書きください。なお、今回の依頼は、会員を対象とする原稿依頼です。非会員の方で執筆依頼に応じていただける場合には、経済教育学会への入会手続きをしていただくようお願いいたします。

3. 書式について

『経済教育』第37号巻末に掲載の「執筆要領」を必ずご覧のうえ、ご執筆ください。

ワープロソフト（Wordないし一太郎）によるA4版、横書き。編集作業では、いったんすべての原稿をテキストファイルに変換しますので、テキストファイルを添えていただけますと幸いです。

1頁あたり24字×45行（=1,080字）に設定して、10頁（10,080字）以内、または48字×45行で5頁以内。分量オーバーの場合には、掲載できないことがあります。なお、「投稿要領」の制限字数とは異なりますので、ご注意ください。この字数の中には、表題、執筆者名、抄録、キーワード、章・節の見出し、スペース、図表、注記、参考文献等すべてを含みます。2段組にする必要はありません。

文体は「である」調（「です・ます」調は不可）、年次表現は西暦に統一してください（引用文の中では原文のまま）。そのほか編集過程で、文意を損なわないままに修正を施すことがあることを事前にご確認ください。

すべての原稿について、日本語の抄録（300字まで）とキーワード（5個まで）を掲載することになりましたので、抄録とキーワードを、表題・氏名・所属の後の冒頭部分に入れた原稿を作成して送って下さい。

4. 図表などについて

作成された図表・数式・グラフ等がそのまま印刷可能なような形で、プリントアウトとデジタルデータを、本文と分けてお送りください。印刷原稿として不適な場合には、作成のやり直しを依頼したり、編集委員会で作り直ししたりすることもありますので、事前にご確認ください。写真における肖像権については承諾をえていることなどにご注意下さい。

5. 締め切り、原稿送付について

締め切りは、2019（平成31）年2月20日（水）厳守。完成原稿でご提出ください。この日までに原稿が送られてこない場合には、原稿執筆をされないものとして判断しますのでご了承ください。執筆原稿を収めたCD-R等1枚とそのプリントアウト2部、連絡先などを下記まで郵便ないし宅急便でお送りください。E-mailによる送付は受け付けていません。

【〒484-8504 愛知県犬山市内久保6-1-1 名古屋経済大学法学部准教授 高橋勝也 ☎090-9674-1349】

6. 校正と、抜き刷りの申し込みについて

校正は、初校のみ著者校正を行います。その際に大幅な書き換え、加筆などはお断りしますので、よろしくお願い致します。

抜き刷りを希望される執筆者は、初校原稿を返却の際に、必要部数を出版社にお知らせください。印刷費、送料ともに実費（自己負担）で承ります。

7. 原稿の電子化について

本学会の機関誌『経済教育』は、すべての内容（全ページ）を電子化して公開します。そのため、原稿の著作権は、学会誌編集規程と著作権規定にもとづき、本学会に譲渡していただきますのでご確認ください。

8. その他

この原稿執筆は、無償でお願いするものであることをご確認ください。

ご不明の点ないしご連絡は、下記のいずれかにE-mailでお寄せください。

高橋勝也（名古屋経済大学） katsu@nagoya-ku.ac.jp